

【記入例】 ※①受験者調書の欄のみ記入すること。 ※更新の場合は、学科試験合格欄の記入は不要。

実地試験成績報告書
(航空英語能力証明)

総合判定 (レベル)

レベル

① 受験者調書				
ふりがな 氏 名	こうくう 航空	たろう 太郎	<input checked="" type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成 生年月日	50年12月31日
既得の技能証明の番号				
事業用操縦士 (飛) No. A300001				
..... No.				
現住所	東京都千代田区霞が関2-1-3			郵便番号 100-8918
連絡先 (会社団体等)	東京都千代田区霞が関1-1-1 (株) トランスポート			電話番号 03-5253-8111
学科試験合格	A8313K1-0001			○年○月○日 受験地 ○○
② 試験の実施				
期日	年	月	日	場所
試験官				
判定年月日	年	月	日	
試験官				
特記事項				

受験者は、受験者調書欄に所要事項を記入又はレ印を付すこと。

資格審査	項 目	判 定
	技能証明書	

対話試験評価シート

発音

A. 発音、強弱、リズム、イントネーション

- 6A 全く理解を妨げない
- 5A 理解を妨げることは稀にしかない
- 4A 理解を妨げることが時々しかない
- 3A しばしば理解を妨げる

B. 方言アクセント

- 6B 方言やアクセントが理解を妨げることは全くない
- 5B アクセントはあるが理解を妨げることは稀にしかない
- 4B アクセントはあるが理解を妨げることは時々しかない
- 3B 方言やアクセントが航空関係者に理解されない

文構造

A. 文法構造および構文

- 6A 基本的小および複雑な構文も構文も常に自由に使いこなすことができる
- 5A 基本的な構文と構文を自由に使いこなすことができる
- 4A 基本的な構文と構文をたいてい自由に使いこなすことができる
- 3A 基本的な構文と構文であっても自由に使いこなすことができない

B. 新たな意味の創造性

- 4B+ 新たな意味を創造することができる
- 3B 必要な時に新たな意味を創造することができない

C. 誤用

- 6C 形骸化した局所的な誤りはあるかもしれないが、誤りはほとんどない
- 5C 複雑な構文に誤りが起き、時々意味が伝わらないことがある
- 4C 基本的な文法構造に誤りが起きるが、意味が伝わらないほどではない
- 3C 誤りにより意味が伝わらないことがしばしばある

語彙

A. 語彙範囲と正確さ

- 6A 身近な話題も不慣れな話題についても幅広く応じ、効果的に十分なコミュニケーションができる
- 5A 共通かつ具体的な業務に関する話題について効果的に十分なコミュニケーションができる
- 4A 共通かつ具体的な業務に関する話題について、大抵の場合、効果的に十分なコミュニケーションができるが、時々確認を要する場面がある
- 3A 共通かつ具体的な業務に関する話題であっても、語彙選択に制約があるため、効果的にコミュニケーションをするには不適切である

B. パラフレーズ

- 5B+ 通常とは異なる、あるいは予期せぬ状況で語彙が不足している時でも、うまくパラフレーズすることができる
- 4B 通常とは異なる、あるいは予期せぬ状況で語彙が不足している時でも、しばしばうまくパラフレーズすることができる
- 3B 通常とは異なる、あるいは予期せぬ状況で語彙が不足している時、うまくパラフレーズすることができない

流暢さ

A. 不適切な区切り、ポーズ

- 6A 文体の効果を生かして自然でよどみない流れでまとまった長さを話すことができる
- 5A 身近な話題に関して比較的容易にまとまった長さを話すことができる
- 4A 効果的なコミュニケーションを妨げることはない
- 3A 効果的なコミュニケーションがしばしば妨げられる

B. フィラー

- 5B+ 効果的なコミュニケーションを妨げることはない
- 4B 意思疎通を妨げることはない
- 3B 時々意思疎通を妨げる

C. 談話標識や接続詞

- 6C 適切な談話標識や接続詞を自発的に使っている
- 5C 適切な談話標識や接続詞が使える
- 4C 談話標識や接続詞の使用が限られている
- 3C 必要な時も談話標識あるいは接続詞が使えない

理解力

- 6A ほとんどすべてのコンテキストで常に正確である
- 5A 共通かつ具体的な業務に関する話題については正確だが、予期せぬ、または不慣れな状況では完璧でないこともある
- 4A 共通かつ具体的な業務に関する話題については大体正確だが、予期せぬ会話の展開に対処する際にはスピードが落ちるか、理解しているかどうかについて確認を必要とする
- 3A 確認を求めても、言語的、状況的な複雑さ、または予期せぬ会話の展開を理解することがしばしばできない

対応力

A. 応答

- 6A ほとんどすべての場面で容易に対応している
- 5A 応答は迅速で適切かつ必要情報を網羅している
- 4A 応答は大抵の場合、迅速で適切かつ必要情報を網羅しているが、通常と異なる、あるいは予期せぬ状況において応答が遅れるとがある
- 3A 応答が迅速で適切かつ必要情報を網羅していることが時々ある

B. やりとり

- 4B+ 予期せぬ会話の展開になってもやりとりを開始し維持している
- 3B 慣れた話題や予測可能な状況に関して、比較的容易にやりとりを開始し維持することができる

C. その他

- 6C ことばおよび言外の手がかりに敏感で、それらに適切に反応している
- 5C 話し手／聞き手の関係を効果的に維持している
- 4C チェック、確認、明確化をすることにより明らかな誤解に適切に対処している
- 3C 明らかな誤解に対処することができない
- ・ 該当なし